

♣ 意見述べに使われる表現(2) ♣

[その他の表現]

- ・～と言える～と言えるだろう、～と言えよう (そう考えてもいいと判断する)

(例) 環境汚染は世界全体で考えなければならない問題だと言えるだろう。

- ・～(の) ようだ (個人的な主観的意見としてそう思う)

(例) 彼らが間違っていると思っていたが、我々にも反省すべき点があるようだ。

- ・～らしい (ある程度確かな情報に基づいて推測する)

(例) きのうの新聞によると、A国でまた大きな地震があったらしい。

- ・～(の) はずだ (ある根拠を理由にして推測する)

(例) 出発してから12時間たつから、もう向こうに着いているはずだ。

- ・～にちがいない (いろいろ推理して最後に確信する)

(例) 彼女が死んで得をするのはこの男だけだ。事件の犯人はこの男にちがいない。

- ・～わけだ (当然性を強調して説明する)

(例) AとBは等しい。そして、BとCは等しい。したがって、AとCも等しくなるわけである。

- ・(～する) ものだ (普遍性を強調して断定する)

(例) 子どもは勉強より遊ぶことを考えているものだ。

cf. 子どものときは川でよく遊んだものだ。(回想)

(3) 「まず」「次に」「～たら」を使って、地震のときに取りるべき行動を簡単にまとめなさい。

→地震が発生したときは、

練習2 次の文を読んで、図に適切なことばを入れなさい。

※ キャンプのときのご飯の炊き方 ※

米を洗って、なべに米2合とカップ3杯の水を入れて、30分以上置いておく。なべを火にかけ、次のような火加減で炊く。まず、沸騰するまでは強火で、沸騰してからは中火で7、8分炊く。すると、水がなくなるので、なくなったら火を弱火にする。そのまま12～15分炊いてから火を消す。ふたをしたまま、10分くらいそのまま置く(＝むらし)。むらしが終わったら、しゃもじやスプーンなどで軽くまぜる。

さぎょう
作業



① 米を洗う

② 水を入れて

[]

時間と火加減

30分以上

